



(有)トータル保険がみなさんにお届けするニュースレターです。

■オンライン相談受付中■

【発行元】

有限会社 トータル保険

〒997-0853 鶴岡市小淀川色田 69-28

TEL 0235-25-1315 FAX 0235-25-1064



HPは
こちらからどうぞ♪



脚立から落ちた

涼しくなってきたし、そろそろスタレを外そうかと思い、準備を始めたところでした。

妻が、「ちよつと買い物に行ってくるわね」と言っていて、出かけて行きました。「はいはい」と生返事をしながら、私は、物置から脚立を運び出しました。

軒下に掛かっているスタレを1枚、2枚、3枚……。脚立の上り下りが、さすがに足に効いてきます。4枚目を外そうと脚立を上って行ったところ、ぐらつと。

危ない！手を伸ばしてもつかまるところがなく、ズボンの裾が脚立に引っかかり、あつという間に地面に落ちました。

両手首からひじにかけて結構な擦り傷。

倒れてきた脚立を受けてあちらこちらが打撲です。どうやら、脚立を置いたところが斜めになっていて、不安定だったようです。痛いやら情けないやら腹が立つやら。しまいには、「家族のためにしてやっているのに、どうしてこんな目に遭わなくちゃならないのか。どうして誰も手伝ってくれないのか」。そんなふうになを責め始めます。ぷりぷりと怒りながら、それでも、傷口の消毒をして、服を着替えて、仕方がないので残りのスタレ

もどうにか外し終えたところに妻が帰ってきました。

「ただいま。遅くなってごめんね。あ、スタレ外してくれたんだ。ありがとう」と妻。「うん」と答えたものの、私はまだ内心モヤモヤしたままです。妻が私の様子に気づいて、「あれ？どうしたの、その傷」と尋ねます。説明していくと「どこでやったの？」

と言いつつ、転倒現場に案内すると、妻が「良かったわねえ。落ちたのがあつちじゃなくて」と言います。こんなに痛い目にあっているのに「良かった」はないだろうと思いつつ、妻が指さす先を見ると、直径30センチほどの庭石が。「あれで頭でも打つていたら、大変なことになっていたわよ」と続けます。

もうちよつとで文句を言い返しそうになっていた私ですが、妻の表情から本心に心配してくれているのがわかりました。

そもそもスタレを外そうとしたのは、別に誰かに頼まれたわけでもなくて、誰かから感謝されようと思っただけ、いるのでもない。転倒したのだから、自分の不注意でこうなったわけ。そんなことに、ようやく気付くことができたのでした。

『保険は信頼で入るもの』

鶴岡市 Aさん

Qなぜ弊社にお任せいただいたているのでしょうか？

Aあることがキツカケで、がんになったらを考え始めました。それまで保険のことは主人に任せていましたが、自分の保険は自分で考えようと主人に相談したところ「だったらトータル保険に相談したら……。」と言われましたが、何となく敷居が高いなと思っていました。

実際会ってみるとそんなことはなく、むしろ楽しく学べるが多かったです。

「がんのことで相談したいことがあつたら任せてください」の一言がさらに安心を増大させてくれました。

※身に余る感謝のお声をいただき感動・感激・感謝です



トータル保険
があつてよかった





今日の質問：「身近をどのように幸せにしますか？」

「幸せは近くから」

人は知らずしらずのうちに遠くを幸せにしがちになる。

世の中をもっとよくしたい。

日本をどうにかしたい。

地域を活性化させたい。

会社を良くしたい。

友達を喜ばせたい。

しかし、

もっともっと

身近なところを幸せにしよう。

家族をどれだけよろこばせるか？

そして

その前に、自分をどれだけ幸せにするか。

そこから始めよう。



生命保険・損害保険の総合プロデュース

有限会社

トータル保険

TEL:0235-25-1315



営業時間 9:00~18:00

事業内容

- ・損害保険・生命保険の総合プロデュース
- ・マナー・相続等各種セミナー
iDeCo(個人型確定拠出年金)
- ・企業型確定拠出年金
カーリースの取扱

私たち保険の専門家が
ご対応いたします。
お気軽にご相談ください。



⑤ ④ ③ ② ①

- ⑤ 黙食と 思っていたら 寝てた祖父
- ④ 兄弟で ひとり薄毛の 変異株
- ③ 誤送金 待てど暮らせど 来ぬ我が家
- ② お年玉 持続可能か 聞くな孫
- ① 実は俺 点滴、湿布の 二刀流

シルバー川柳

シニア世代を中心とした、人生の達人たちによる一句です



トータル情報 Café



活かせてますか？

「ねんきん定期便」はすぐれもの 「ねんきん定期便」活用できていますか？



現在の年金制度は、40年加入して満額支給です。
ところが先日、年金制度がざわついてきましたね。
40年満額から45年満額にしようという動きが出てきました。
高齢者の割合が増加し、若い働き手の減少、この人口構造から年金財源の確保がより厳しくなるのは必至です。
考えれば暗くなるばかりと思っている方も少なくないかもしれません。
ここで、この問題の解決策となる大切な資料が、毎年お誕生月に送られてくる「ねんきん定期便」です。
「ねんきん定期便」で何が解決できるの?と思われるかもしれませんが年金制度も保険です。
ですから自分で年金額を調整し、つくる事が出来るのです。

わからなかったら遠慮なく相談してくださいね。